

# 地上デジタルアンテナの取り付けかた

地上デジタルアンテナは、左右1対ずつ(A、B)あります。

② 地上デジタルアンテナコード・A (4 m)

④ 地上デジタルアンテナ・A

② 地上デジタルアンテナコード・B (4 m)

④ 地上デジタルアンテナ・B

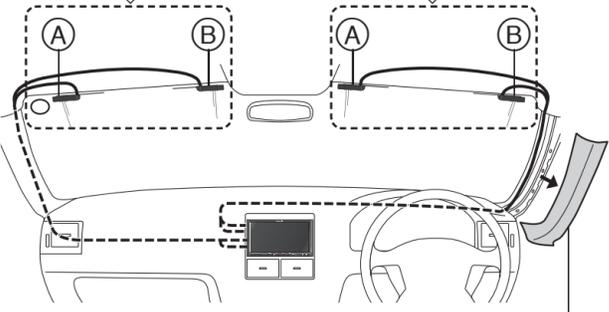
- アンテナとコードのマーク(A、B)と向きを必ずご確認ください。  
[同じマーク(A、B)のものどうし接続します]
- アンテナは3層構造です。

分解図

タグⅢ 給電部 フィルム  
タグⅠ アンテナ  
タグⅡ エレメント セパレータ

必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。

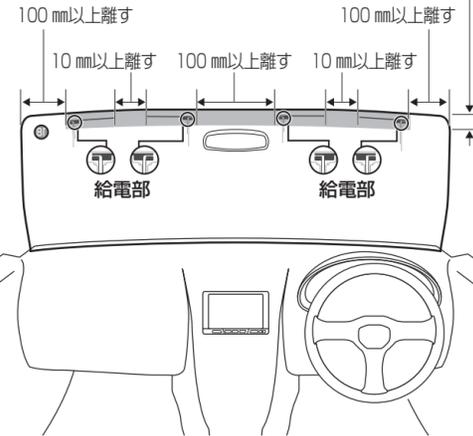
- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。



## 貼付位置について

性能を十分発揮するために、必ず指定の位置(■部)に、正しい向きで貼り付けてください。

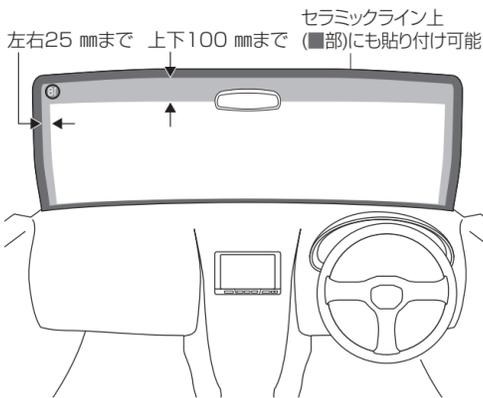
- 給電部をフロントガラス上部の車体金属部分の近く(フロントウィンドウ上端から25mm以内)に貼り付けてください。(セラミックライン上にも貼り付けられます。)



## 国土交通省の定める保安基準について

国土交通省の定める保安基準\*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

\*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



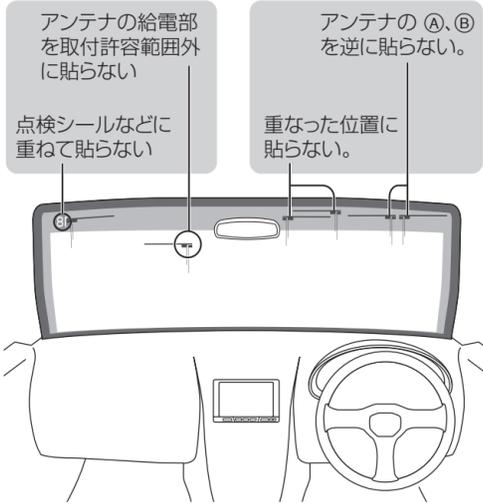
## アンテナ貼り付け時の留意点

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置(左右)をご確認ください。(貼りなおせません)
- アンテナを貼り付ける前に、付属のクリーナーで、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。
  - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
  - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10cm以上離して貼り付けてください。

## 誤った貼り付けかた

❌ 下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。

国土交通省の定める保安基準に適合しません。 アンテナの性能を十分に発揮できません。



# B-CAS カードリーダーの取り付けかた

センターコンソールの横などに取り付ける。

② B-CAS カードリーダー 両面テープ 裏紙をはがす。

- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。

**販売店様へお願い**

- B-CAS カードは、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要です。パッケージを開封すると、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意されたことみなされますので、開封せず、そのままお客様へお渡しください。

**お願い**

- お使いになる前にB-CASカードを挿入してください。
- 貼り付ける前に、設置面の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。
- 以下のところには取り付けしないでください。故障の原因になります。
  - ・水のかかる場所
  - ・足で踏まれる場所
  - ・ほこりの多い場所
  - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
  - ・B-CASカードの出し入れの妨げになるところ

## アンテナを貼り付ける

右側のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

- フロントガラスにアンテナを貼り付ける。**
  - 地上デジタルアンテナ・AのタグⅠを持ってセパレータをはがし、貼り付ける。
    - フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
    - フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。
    - 貼付位置を確認してから貼り付けてください。
  - タグⅡを持ってセパレータをはがし、エレメントをしっかりガラス面に密着させる。
    - 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押付け、たわみや気泡が残らないようにガラス面に密着させてください。
    - 車外から見て、エレメントがガラス面に密着していることを確認してください。
  - タグⅢを持ってフィルムをはがす。
    - エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグⅢを持って、ゆっくりとはがしてください。
    - エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。
- 地上デジタルアンテナ・Bも同様に貼り付ける。

- アンテナコードを取り付ける。
  - 車の内張り(ピラーのカバー)を取りはずす。
  - アンテナコードのA・Bを確認して裏紙をはがし、
    - 地上デジタルアンテナコード・A
    - 地上デジタルアンテナコード・B
 裏紙をはがす
  - アンテナコードの端子を給電部に貼る。(必ずAとA、BとBを組み合わせてください。)
  - アンテナコードの端子の向きを必ず確認してから貼り付けてください。
    - 地上デジタルアンテナコード・A(逆L字型)
    - 地上デジタルアンテナコード・B(L字型)
 目印に先端を合わせる
  - コードを引き回す。
    - 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。デジタルテレビの音声に雑音が入る原因になります。
- アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する。(※裏面)

## GPS アンテナの取り付けかた

- 取り付ける前に
- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
  - 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
  - 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10cm以上離して取り付けてください。

### ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合(推奨)

中央部のガラス付近に水平に取り付ける。

❌ コードをドライバーなどの先のとがったもので押しついたりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

- GPS アンテナ
- 金属シート
- 裏紙をはがす。
- 20cm以上
- コードクランパー
- コードの要所を固定する。

**お知らせ**

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(取扱説明書操作編)にご相談ください。

**お願い**

- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーションユニットから30cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなる場合があります。

### 車外に取り付ける場合

ルーフの平らな面に取り付ける。

- GPS アンテナ
- 保護シート
- 裏紙をはがす。
- 防水ゴム(裏面)
- コードクランパー
- コードの要所を固定する

● ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

● 車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

GPSアンテナのコード

- 裏紙をはがす。
- 防水ゴム(裏面)

● 国土交通省の定める保安基準\*に適合させるため、コードクランパーは車内に取り付けてください。

\* 道路運送車両の保安基準 第18条「車枠及び車体」細目告示 第1節 別添 20「外装の技術基準」

**お願い**

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。